



2024臨時号防災減災特集



吉沢章子通信

<https://yoshizawa-akiko.jp>

川崎市議会議員 一級建築士

無所属

ごあいさつ

みなさまこんにちは。今年の干支甲辰年は「春の日差しがあまねく成長を助く年」であり、良いことにも都合が悪いことにも平等に光が当たり、変化と成長を促す年とされています。

激動の幕開けとなりましたが、圧倒的な自然の力と人の素晴らしさを改めて感じています。自然災害もヒューマンエラーによる事故も、起きてしまうことは不可避であっても、人の智慧と行動によって大難を小難に「減災」することは可能です。いつも申し上げております「むやみに怖がらず、正しく恐れ、侮らず」の精神で備えましょう。もう一度身近なリスクを見直すために、今号は「防災減災特集・臨時号」と致しました。被災地へは息の長い支援が必要です。出来ることを出来るだけ、ともに手を携えて参りましょう。

甲辰年は「積み重ねてきた努力が実を結ぶ縁起の良い年」とも言われています。吉沢は「年女」です。激動の時代をみなさまと龍のように乗り越え、努力が報われる笑顔の多摩区・川崎市の創造にさらに取組んでまいります。



備蓄について考えよう！

災害がおきたら避難所に行けばなんとかなる？その考えちょっと待って

災害発生時一番大切なのは身を守る避難行動です。潰れず、流されず、安全な建物として家が残ったら自宅での避難、自助を考えましょう。自助に必要なのが備蓄です。

水の備え

1人1日3ℓ × 家族数 × 7日間 4人家族なら1日12ℓ × 7日 = 84ℓ

備える
目安

市の備え

災害時川崎市全市で稼働できる給水車は6台、2トン×3台 4トン×2台 3トン1台（医療施設など優先順位の高い所へ）市民向けは応急給水拠点（ハザードマップなどに掲載。一度ご確認ください。）学校などの避難所にある貯水槽 帰宅困難者用、地震発災が在学中の時児童生徒用の備蓄水

多摩区の人口は現在21万4千人。個人の備えは必須です。

食べ物の備え

1日3食なので9品 × 家族分 × 7日間 4人家族なら1日36品 × 7日 = 252品

備える
目安

カンパやお水だけでは栄養不足に。普段の食事から備蓄する食べ物を考えましょう。おかず、汁物、野菜、果物など摂れるように一食3品くらいとしてみてください。（カレーが好きな家族はカレーレトルト多めに、パンが好きなならパンの缶詰多めになど）

※備蓄用の食品を買う時はまず1個購入し、食べて気に入ったら多めに買うのがおすすめです。

備える
目安

トイレの備え

1日に行くトイレの回数 × 家族分 × 7日間 1人1日5回、4人家族なら1日20回 × 7日間 = 140回

最近では電気がないと水が流れない便器も多く、災害時でなくても停電すると使用不可となります。また災害時、下水処理場や下水管に損壊、破断などの被害が出ると、お風呂の残り湯などでむやみに流すと大変なことになります。そのため、

※携帯トイレを用意して使用するのが望ましいです。使用後の携帯トイレは家で保管し、普通ゴミの収集が始まりましたら捨てましょう。

※携帯トイレ（凝固剤と45リットルゴミ袋）

自分や家族の命を守るだけでなく、家が倒壊したり、避難所での生活を余儀なくされる方が安心安全に暮らせるためにも是非日頃から備蓄について考えていきましょう。

防災備蓄収納マスタープランナー・防災士 三原麻弓さん監修



日頃からの備え

◎川崎市防災ポータルサイト Web版「備える。かわさき」
URL:<https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/static/sonaeru/>

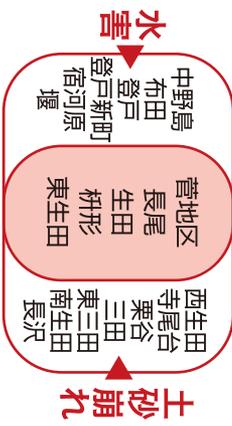
◎ガイドマップかわさき「防災マップ」
(PC版) <http://kawasaki.geocloud.jp/webgis/?mp=131> (スマホ版) <https://kawasaki.geocloud.jp/webgis/>
ハザードマップや避難所の場所を確認できます。



普段から活用いただき、職場やご家庭で話し合いをして、日頃から備えておきましょう



確かめようあなたの住まい



身近なリスクを再確認しよう！

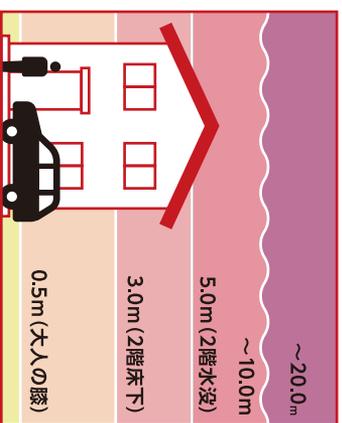
多摩川洪水ハザードマップ

川崎市ホームページよりダウンロードできます。大雨によって河川が増水し、堤防が決壊したりあふれたりする氾濫が発生した場合に、浸水が想定される範囲とその程度、及び地域の避難場所を示した地図です。

土砂災害ハザードマップ

川崎市ホームページよりダウンロードできます。土砂災害警戒区域の範囲などを示し、土砂災害への注意に関する情報などを記載したものです。

浸水深の目安



吉沢章子 洪水+土砂災害マップ

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食) 河岸が侵食された場合に、家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流) 氾濫の氾濫が発生した場合に、構造的な木造家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。
- 土砂災害警戒区域(平成30年1月時点) 土砂災害防止法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
- 急傾斜地崩壊危険区域(平成30年1月時点) 人集などに災害が生じる恐れがある区域で、急傾斜地法に基づき神奈川県が指定した区域です。
- フォンダー/穴・地下通路 立体交差で掘り下げ式になっている道路および地下通路のこと
- カメラ画像
- 水位計

① 避難所 (●内の数字以上の階が使用可能)

大雨

河川の氾濫
内水氾濫※

※市街地ごとの大雨で降った雨が、排水管や下水道の雨水処理能力を超えてあふれる、あるいは川の水位が上昇して内水を市街地に押し上げて氾濫すること

大地震

震度の目安

丘陵部 19549世帯 42人 1206人 7615棟
丘陵部 負傷者 建物被害
平野部 19549世帯 42人 1206人 7615棟
平野部 負傷者 建物被害

多摩川の災害リスク

現場から見たもの



災害対策は地歴から

明治時代、多摩川の氾濫後に祀られた豊地区の「た」とさまを祀るお祭りで、災害・洪水を絶つという意味、自然を正しく畏れ、地歴から学ぶことの重要性を実感。

プロムナードで通学路まちなぎ

多摩区道路公園センターが行ったまちなぎに同行。「一般建築士の視点で「プロムナード」の「プロ」とのまちなぎ」の有効性を検証。

土石流発生現場へ

生田緑地内で土石流が発生した現場へ。警戒区域の現状、正しく避難するための想定とガイドラインの必要性を痛感。